

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回 行田市水道事業運営審議会
開催日時	平成30年1月18日(木) 開会；午後2時20分 ・ 閉会；午後3時40分
開催場所	行田市水道庁舎 2階 第2会議室
出席委員氏名	吉田豊彦会長 岡野充甫副会長 新井教弘委員 吉田哲委員 久保田満委員 栗原芳江委員 島田洋子委員 相原雅洋委員 田熊誠委員 計9名
欠席委員氏名	大久保忠委員
事務局	藤原都市整備部長 長谷見水道課長 岡戸副参事 根岸主幹 金子主幹 渡辺主査 河村主査 吉岡主事 栗原技師
会議内容	(1) 行田市水道事業ビジョン(素案)について(意見聴取)
会議資料	(資料名・概要等) ①次第 ②行田市水道事業ビジョン(素案)について
その他必要事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料確認</li> <li>・ 委員出席状況報告</li> </ul> <p>2 あいさつ</p> <p>吉田豊彦会長あいさつ</p> <p>3 議事</p>
吉田議長	<p>(1) 「行田市水道事業ビジョン（素案）」について</p> <p>それでは、「行田市水道事業ビジョン（素案）」について、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>・・・資料を用いて事務局が説明・・・</p>
吉田議長	<p>ご意見、ご質問等はあるか？</p>
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19 ページの図 3-3 について、給水人口が減少しているのに平成 30 年度の 1 日最大給水量は増加しているが、その理由は何か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給水人口については国、市の人口ビジョンを基に推計しているため人口同様に減少している。1 日最大給水量は図 3-2 用途別の給水量の内訳のとおり、生活用は人口減少とともに減っているが、業務・営業用については、今後企業誘致などの効果により増加する可能性もあり、給水人口と給水量には若干の齟齬がでている。</li> </ul>
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリックコメントでこの図を見た人は同じように感じるのではないか。説明はどうするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この図については注釈をつけることで対応していく。</li> </ul>
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素案 20 ページの図 3-4 自己水と県水の割合であるが、総取・受水量の目盛を大きくした方がよいのではないか。このままでは小さな変化でも大きく見えて違和感がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右の自己水比率の目盛が 0.5% ずつと細かすぎるので、図の表現方法を修正する。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率良く意見を聴取するため、章ごとに質疑応答を受け進めてはどうか。</li> </ul>

吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは章ごとに進めていきたい。</li> <li>・ 第1章「策定にあたって」について質疑はあるか。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ・ ・ 特になし ・ ・ ・</li> </ul> </li> </ul>
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2章「水道事業の概要」について質疑はあるか。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ・ ・ 特になし ・ ・ ・</li> </ul> </li> </ul>
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3章「水道事業の現状と課題」について質疑はあるか。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素案 19 ページの図 3-3 について、10 年後を見た時に給水人口と給水量の減少の度合いが違うが、給水人口と給水量はリンクしているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給水人口は人口ビジョンを基に推計しているが、給水量については人口が減少すれば生活用水は同じように減少するが、業務用は企業誘致などで変動する可能性があるため、必ずしもリンクしない。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジョンの中に「給水人口は減少しているが、給水量については、企業誘致等積極的に行い、現状を維持していきたい」等の記載をしているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給水量予測を巻末に記載する等、見せ方については検討していきたい。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素案 20 ページの「自己水と県水の適正比率」とはどの位か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正比率については埼玉県の上位計画と整合を図ることとしており、県全体の飲み水を含めた将来的な水需要の計画に基づくものである。また、県環境事務所では地盤沈下を防ぐため、県内地下水の汲み上げ量を規制している。そのため、現在行田市は自己水約 6 割、県水約 4 割であるが、これを自己水約 4 割、県水約 6 割にしていく必要がある。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度展開を記載すれば分かりやすいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在策定中である経営戦略の財政計画の中に盛り込む予定であるが、ビジョンの中で見せ方については検討していく。</li> </ul>
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県水の割合が低い方が経営的にはよいのではないか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県水の購入単価より自己水の方が安いですが、県条例による井戸水の取水規制があるため、今後、収支バランスを見ながら考えていきたい。自己水があるということで災害時に各家庭へ供給可能となることから、施設の状況を含めトータルに考えていきたい。</li> </ul>
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己水と県水の比率について、極端な変化は経営上好ましくないと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県水の量が増加すると費用も増加することから、経営戦略で試算し、収支均衡、黒字経営となるよう現在トライアルしている。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22 ページの施設の老朽化により更新費用が増大するとあるが、更新費用はどの位かかるのか。年度展開でどの位かかるかを表していないのでわからない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30、31 ページの図を見ていただきたい。これはビジョンからは削除する予定であるが、図 3-8 は更新事業費の逡増を表した図である。2011 年から 2015 年の実績は 1 年当たり 5 億 1,700 万円だったが、2031 年から 2035 年は 1 年当たり約 10 億円かかると試算している。また図 3-10 は損益（収益的収支）の図であるが、2026 年から 2030 年には赤字となり、図 3-11 では 2021 年には資金が不足することを表している。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局の説明でこの図はビジョンから削除するとのことであったが、図が無いと分かりにくいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不確定要素を含んでいるので削除するが、前段の文章で説明していく。</li> </ul>
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図で訴えたほうが分かりやすい。グラフなどで赤字になるのも分かりやすいと思うがいかがか。施設を更新するために、水道料金の値上げをしなければならぬなど理解しやすいと思う。また、ビジョンと経営戦略の違いは何か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジョンは基本的な方向性を示したものである。一方経営戦略は経営に特化したものであるため、このページの図を経営戦略に掲載していく。人口や給水収益は意見をいただいても変わるもので</li> </ul>

<p>吉田議長</p>	<p>はない。経営戦略では施設更新の平準化等を盛り込み、最適な形で健全な事業経営ができるよう策定していきたい。</p> <p>第4章「基本理念と理想像」について質疑はあるか。</p> <p>・・・特になし・・・</p>
<p>吉田議長 吉田哲委員</p>	<p>第5章「理想像実現のための施策」について質疑はあるか。</p> <p>・42ページの水質管理の徹底の中で、「ゲリラ豪雨」（P21に記載）について記述があったが、ゲリラ豪雨に対する対策はどのようなことか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・21ページの現状と課題を含め水質をどう確保するのかということによいか。行田市は地下水のためゲリラ豪雨による影響はないが、県水は利根川等の表流水のため影響を受ける。こういったケースの場合は県が対策をとるため、市としては県と連携し情報共有や水質管理を徹底していく。</p>
<p>岡野副会長</p>	<p>・本日は向町浄水場を見学し、井戸水を見ていつでも飲める状況を確認し安心した。</p>
<p>久保田委員</p>	<p>・それぞれの施策について、「こういう効果がある」ということを書いたほうが市民にとって分かりやすいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・見せ方の話しになると思うが、始めは施策ごとに目標値を掲載しようと検討したが、複数の項目に連動して目標を達成するものもあるため、41ページに目標値の設定として集約して掲載した。ご理解いただきたい。</p>
<p>吉田議長</p>	<p>・第6章「フォローアップ」について、質疑はあるか。</p> <p>・・・特になし・・・</p>
<p>吉田議長</p>	<p>・ご意見、ご質問は以上とする。</p> <p>以上で議事の全てが終了となったので、議長の職を下りる。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>・今後の予定であるが、パブリックコメントを1月29日から2月28日まで実施する。</p> <p>また、次回の審議会の日程だが、3月14日水曜日午後1時30分</p>

からを予定している。出席をお願いしたい。

5 閉会

岡野副会長